平成 26 年度 基礎評価シート

					担当部課等名 健康長寿課				
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保				重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援			
分野別方針	(3)介護サービスの充実				実施計画事業	1)介護サービス推進事業(No.4)			
予算等事業名	介護予防サ	ービス等諸	費給付	事業					
目的	介護保険サービスの適正な認定・給付・賦課徴収を行う。また低所得者への軽減補助を行う。								
内容	_								
根拠法令 •条例等	介護保険法								
体制	町職	員実施		一部委託あり		全部委託 ② その他			
中間評価(10月1日現在) 1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
	① 計画と	おりに進捗	している	5 🗆	②計画よ	り遅れている		③未実施	
2,312	対する理由								
の 理性	上の仏辺か	2	攻の奴	費の削減等は検	シナッシャン・				
2) 現時	①検討で		降り経済	買り削減等は物	②削減は				
	由								
3) 今ま	で以上の事		は図れる	るか・ 	② 効率化	 (は困難			
	由								
-1									
中間									
総合評価									
実績	介護保険法に基づく予防給付を行った								
中間評価 との 相違点									
事業指標	票(数值指標) 支給額								
前期(27	年度) 目標値 単位:	[目標値の	根拠または数値で	表わ	せない指標】	
実績値		平成26^年	F度		介護保険法 介護保険事				

(単位:千円)

		平成	25年度	平成2	26年度	平成27年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	
谨	直接事業費	148,571	137,731					
財源内訳	一般財源							
	国庫支出金	37,142	34,433					
	県支出金	18,571	17,217					
	その他	92,858	86,081					

事業の項目別評価

	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない						
	【説明】						
立小杯	介護保険法に基づく介護サービス事業のため						
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A					
	【説明】						
	介護保険法に基づく保険者であるため						
	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	А					
有効性	【説明】						
	介護度に応じた適正な介護サービスの給付が行われている						
******	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	С					
効率性	【説明】						
	介護保険は国、県、町、町民、相互に協力し合って介護給付を行っているため						
	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要	А					
総合評価	D:事業継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】						
75 11 11 11							
	介護保険事業計画に基づき適正な介護給付を行っていく						
今後の方針							
(課題・意見等を箇条書	介護保険事業計画に基づき適正な事業運営を図っていく						
き)							
•							

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□								
7	☑ ① 現状維持		②改善して町が実施		③改善して町以外が実施		④廃止	
	理由	介護保険の給付については、全国一律の介護保険制度に基づき実施されているため。						
今後		海性 法改正などにより制度の見直しは行われるが、介護保険の給付については全国共通で実施される。						